区政への質問

声を活かす区政を、農地・緑　地保全について質問があった

一般質問要旨（7面からつづく）

小林おとみ（共産党）

国民健康保険料値上げの影響について

【質　問】①保険料値上げが、区民生活に及ぼす影響は。②区として子どものいる世帯への負担軽減を。

【区　長】①被保険者に一定の影響はあるが、低所得者には所得に応じて均等割額の軽減制度や、分割納付での対応など配慮をしている。②賦課方式変更に伴う経過措置は終了したが、新たに2年間の経過措置を設け、負担軽減を図っているため、区独自の軽減策は考えていない。

介護利用料の軽減と新高齢者元気リフレッシュ事業を問う

【質　問】①23区中12区で、低所得者などに対する介護利用料の軽減策を実施している。区でも独自の利用料軽減を。②高齢者元気リフレッシュ事業の改善と拡大を。

【区　長】①負担軽減策は一般財源の投入につながり、継続的な負担増となる。厳しい財政状況のため慎重な対応をとる。②行政評価で外部評価委員の厳しい意見がある中、25年度に給付額を約1億円節減し、26年度には一部廃止するなど事業を縮小する。

木造家屋の耐震化を

【質　問】①耐震補強の工事費は2分の1が自己負担のため、無利子貸付制度の創設を。②家屋や所得の状況に応じて2分の1要件を外し、「助成額を上限100万円まで」とする内容などに変更を。

【区　長】①無利子貸付制度は考えていない。②他の自治体の動向を見ながら研究する。

石神井川の防護柵の改善を

【質　問】今後、石神井川を含む防護柵について、足がかりのない構造に改修を。

【区　長】改修が必要な場合は、これまでの基準に十分な検討を加えたうえで実施する。

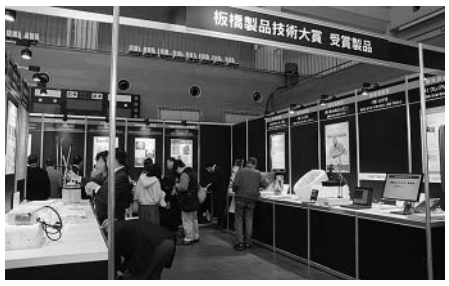
石神井川の防護柵

※以上のほか、政府の経済政策と区民生活への支援、難病患者支援の体制整備、中小業者・商店街支援、空き家などの適正管理、児童館と青少年センター、体育施設の管理について質問があった

松島道昌（みんなの党）

板橋産業ブランド戦略を問う

【質　問】①区の産業にブランドが必要と考えた理由は。②区において、板橋製品技術大賞受賞製品の採用実績が少ない。区長の見解を。



いたばし産業見本市

【区　長】①優れた企業、最先端技術などの集積によりブランド力の強化につながるため。②受賞企業の期待に十分こたえているとは言い難い。原因の分析と対策を講じる。

空き家対策について問う

【質　問】①危険な空き家の除去を進める「空き家再生等推進事業」を活用し対策を。②空き家の所有者に撤去を命令するなどの空き家対策条例を制定する自治体が増加している。区も独自の条例制定を。

【区　長】①区での活用が可能か検討していく。②区の実情に合った条例の制定を検討する。

五十嵐やす子（生活者ネット）

子宮頸がんワクチンを問う

【質　問】子宮頸がんワクチンが法定接種になっても強制ではないことや、今まで以上に検診が大切であることを周知徹底せよ。

【区　長】接種対象者と保護者には個別にワクチンの説明文書を送り、必要な情報の周知徹底を図っている。また、医療機関には接種前に十分な説明をするよう依頼している。

未来の常盤台の景観のために

【質　問】常盤台のまちに45mの高さ制限をかけようとすることは、地域住民の自治を無視し、紛争の火種を増やしているように感じる。区はどう考えているのか。

【区　長】用途地域、建蔽率、容積率などを考慮し、同じ容積率の他の地域との整合性も図りながら高さ制限値を45mとしている。

ときわ台駅前

※以上のほか、低炭素社会、給食について質問があった

議会トピックス

5月21日の臨時会において、特に重要な案件を専門的に調査する機関として、4つの特別委員会が設置されましたので、建議理由（要旨）をお知らせします。

公共施設等調査特別委員会

区では、多くの施設が建設から30年以上経過し、更新の時期を迎えている。また、人口構造や社会状況の変化、区民ニーズの量や質の変化に伴い、公共施設における需要と供給のミスマッチが顕在化しつつある。

そこで、議会としても、「公共施設マネジメント」の確立に向けた検討を行うとともに、廃止施設などの活用策や、指定管理者制度のあり方を明確にしていくため、専門的調査機関として、特別委員会を設置する。

●委員数　12名

●調査事件　公共施設等に関する調査

防災・減災対策調査特別委員会

東日本大震災の発生を受け、区においても近い将来想定される首都直下地震などによる被害への懸念が生じている。災害に対する不断の備えを進めるとともに、自ら考え、行動できる体制を構築することが喫緊の課題となっている。

そこで、議会としても、地域防災力の向上、情報伝達体制の強化、災害時要援護者支援体制などを確立すべく、専門的調査機関として、特別委員会を設置する。

●委員数　11名

●調査事件　防災・減災対策に関する調査

まちづくり調査特別委員会

大山駅周辺地域のまちづくりについては、総合的な観点から考える必要がある。また、板橋駅前については、区を対外的にアピールできる絶好の場所であり、上板橋駅南口については、一部の地区において計画案の検討が始められている。

そこで、議会としても、安心、安全な住環境の整備、東上線立体化の実現などをめざし、まちづくりの専門的調査機関として、特別委員会を設置する。

●委員数　11名

●調査事件　まちづくりに関する調査

議会改革調査特別委員会

近年、地方分権化が進み、地方自治体の果たす役割が拡大する状況下において、議会は、民意を反映する合議体として、住民自治の拡充を実現する責務があり、その役割は一層大きなものとなっている。

そこで、議会としても、今まで、議論・実践されてきた議会改革に対する取組みを踏まえ、これからの議会のあり方について提言するため、専門的調査機関として、特別委員会を設置する。

●委員数　11名

●調査事件　議会改革に関する調査

第51回東京河川改修促進連盟総会及び促進大会に参加

5月24日、日本青年館において、「第51回東京河川改修促進連盟総会及び促進大会」が開催されました。

総会および大会は、都内の河川氾濫（はんらん）、溢水（いっすい）による災害をなくし、住民の福祉を増進するため、河川改修事業の早期達成を要望し、その実現に協力することを目的としており、38区市町村の長や議員などが参加し、板橋区議会からは19名の議員が参加しました。

促進大会では、各地区を代表して板橋区、町田市、小平市が意見を発表しました。また、東京全域の河川改修と内水対策の早期実現など治水対策の促進を求める大会宣言を採択し、国会、政府、都に対する7項目の要望を決議しました。

第3回区議会定例会の開会予定

平成25年第3回区議会定例会を9月24日（火）から10月30日（水）まで、会期37日間にわたり開会する予定です。会議は原則として午前10時（議会運営委員会は午後1時、10月24日の決算調査特別委員会は午前11時から）に開会の予定です。変更となる場合がございますので、傍聴をご希望の方は、事前に区議会事務局にお問合せください。

なお、第3回区議会定例会での審査を希望される請願・陳情につきましては、9月12日（木）までに提出をお願いいたします。

■日　程

9月13日●告示
24日●議会運営委員会
25日●本会議
27日●企画総務委員会
区民環境委員会
健康福祉委員会
30日●都市建設委員会
文教児童委員会
10月3日●議会運営委員会
4日●公共施設等調査特別委員会
防災・減災対策調査特別委員会

10月7日●まちづくり調査特別委員会
議会改革調査特別委員会
15日●議会運営委員会
16日●本会議
16日～17日
18日～24日●決算調査特別委員会
25日～28日
29日●議会運営委員会
30日●本会議

インターネット生中継と録画中継のご案内

本会議および予算審査特別委員会・決算調査特別委員会における総括質問の様子を中継しております。板橋区議会ホームページからご覧ください。

http://www.itabashi-city.stream.jfit.co.jp/